



人をつなぐ 未来につなぐ  
橋でつなぐ



サステナビリティの取り組み

① 瀧上建設興業株式会社

# サステナビリティの取り組み

Sustainable Development Goals × 健康経営

## 01 瀧上建設興業株式会社のSDGs宣言

瀧上建設興業株式会社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、  
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みをおこなってまいります。

瀧上建設興業株式会社は、設立以来50年以上の長きにわたり、主に愛知県を中心とした東海エリアで鉄道や道路などの橋梁の架設・補修・補強を専門に事業をおこなっています。当社と関わるすべての人たちとパートナーシップを結び、SDGs達成に向けた取り組みを働きかけ、全員参加型で世界共通の目標達成に向かい活動してまいります。

私たちの働き方についても「ワークライフバランス」と「誰もが働きやすい職場環境」をめざし、改善を重ねます。

従業員とその家族の幸福度が高まるよう、より良い働き方・休み方を考え、取り組んでまいります。

2022年10月

瀧上建設興業株式会社 代表取締役 鬼頭 克己

SDGs (Sustainable Development Goals) とは

SDGsとは「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」のことで、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。



「地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind)」という誓いのもと、人間、地球および繁栄のための行動計画として、「貧困」「健康と福祉」「教育」「働きがい」「気候変動」など17の目標と169のターゲットで構成されています。SDGsは発展途上国のみならず先進国自身が取り組むユニバーサルなものであり、日本でも積極的に取り組まれています。

# 02

## 土木・建設業のSDGs

### 土木・建設業が取り組むSDGsとは？

#### 土木・建設業とSDGsの関係

土木・建設業界は、人々が安心して暮らせる社会をつくるために、住宅環境の整備やまちづくり・インフラ構築・省エネ・環境保護などに取り組んでおり、事業の理念そのものがSDGsに合致しています。国際的な目標であるSDGsへの取り組みは、経営方針や日常業務を見直すきっかけとなり、継続的な事業戦略、新規事業の創出などにつながります。



### 土木・建設業に期待される3つの目標（SDGsの目標）

#### 8 働きがいも 経済成長も



#### ゴール8

#### 働きがいも経済成長も

土木・建設業の取り組みは、すべての人々の良好な生活基盤の提供に貢献します。また、環境不動産の市場形成などにより、新規雇用の創出と経済活性化に大きな貢献を果たします。

#### 11 住み続けられる まちづくりを



#### ゴール11

#### 住み続けられるまちづくりを

全世界的に都市化が進むなかで、建設産業の果たし得る役割は益々大きくなっています。建設構造物は都市の基盤であるため、より良い構造物を長期にわたり利用できるようにすることで持続可能な都市の創出に貢献することができます。

#### 12 つくる責任 つかう責任



#### ゴール12

#### つくる責任つかう責任

環境負荷抑制のために、構造物の設計者にも使用者にもその責任が問われます。例えば、構造物の長寿命化と効率的な利用で、資源の利用効率を向上させることができます。

# 03

## 瀧上建設興業株式会社が取り組むSDGs

当社では、従業員一人ひとりが企業活動とSDGsのつながりを理解し、  
普段の業務のなかで取り組みを実践しています。



### 取り組み1：人権・労働

労働安全衛生および、健康経営を推進し、  
従業員が生き生きと働ける職場環境を整備します。



#### <具体的な取り組み>

- ・資格取得を目的に2週間に1回の勉強会を実施
- ・健康経営の推進を目的にヘルスケアシステムを導入し、産業医への相談などで早期改善
- ・新型コロナウイルス感染症に対し、感染状況に応じた対応
- ・全従業員に対する感染予防のための予防手段を実施
- ・ウイルス対策として各階にオゾン発生機器を設置
- ・AED設置に伴い社員が講習を受け、緊急時の対応に備えている
- ・定期健診（夜勤担当者は、半年ごとの検診）の実施
- ・勤務時間インターバル制度の導入
- ・スマホでの勤怠管理導入で長時間労働の是正や生産性向上に努める
- ・年間休日122日で平均年間休日数より多い休日取得実績（土曜は月2日必ず休み）
- ・残業時間の削減や有給休暇の取得推進
- ・男性の育児休暇取得推進

#### <関連するSDGs目標>

- ゴール3：すべての人に健康と福祉を
- ゴール4：質の高い教育をみんなに
- ゴール5：ジェンダー平等を実現しよう
- ゴール8：働きがいも経済成長も
- ゴール10：人や国の不平等をなくそう
- ゴール17：パートナーシップで目標を達成しよう

### 愛知県健康経営推進企業

瀧上建設興業株式会社は「愛知県健康経営推進企業」に登録されています。



「愛知県健康経営推進企業」とは、県内の企業・団体において、従業員の健康の保持・増進を推進する「健康経営」に取り組む企業等を「愛知県健康経営推進企業」として認定する制度です。今後も社員の心身の健康維持・増進に努め、健康経営に関する考えを全社で共有し、社員とご家族の皆様の幸福度の向上に繋がるよう取り組みを行ってまいります。

「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

### 健康宣言事業

健康宣言チャレンジ事業所として認定されました。



健康宣言とは健康経営の考え方に基づき、社員の健康づくりへの取り組みを会社の内外へ発信（宣言）することです。社員とご家族の健康の保持増進は安全な労働環境をつくり、生産性の向上・会社の成長へとつなげて参ります。



## 事業活動のあらゆる領域で環境負荷低減に 取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

### <具体的な取り組み>

- ・定期的な社有車の入れ替えやハイブリッド車の導入でCO2削減や燃料費の低減に  
取り組む
- ・マイカー通勤を禁止・制限し、通勤や業務での公共交通機関または自転車の利用を促進
- ・テレワークやウェブ会議などを行い、自動車利用による移動を削減
- ・自社ビルの主要な部屋の電気をLED化し、不用照明の消灯を全社的に実施
- ・日常的な省エネ対策として廊下やトイレなどの照明は人感センサーを導入
- ・屋外照明は人感センサーやタイマーなどを導入
- ・自社ビルのエネルギー効率を向上させるため、遮熱対策として屋上へウッドデッキを  
設置
- ・節水対策として、自動水栓を導入
- ・両面コピー、縮小コピー、使用済み用紙の裏紙利用など、全社的な紙の使用量削減を  
実施
- ・電子決裁、電子掲示板、会議資料の電子化などによる全社的なペーパーレス化を実施
- ・新聞・雑誌・段ボール・OA用紙、その他の紙、機密書類を分別し古紙回収の徹底
- ・紙パック、食品トレイ、アルミ缶、スチール缶、ペットボトルなどの店頭回収を実施
- ・輸送時は通い箱・袋（拠点間を行き来し材料などを輸送、繰り返し使用する箱）を導入
- ・マイカップ使用の推奨で、プラスチックの削減
- ・エコスタイルなどにより、空調温度の適正化（夏26度、冬20度を目安）を実施
- ・省エネ対策として、電気式給湯器や便座の設定温度を季節ごとに調節
- ・サーキュレーターや扇風機などを使用し、室内温度が一定になるような取り組みを実施

### <関連するSDGs目標>

- ゴール6：安全な水とトイレを世界中に
- ゴール11：住み続けられるまちづくりを
- ゴール12：つくる責任つかう責任
- ゴール13：気候変動に具体的な対策を

## 取り組み3：社会・地域貢献



## 社会の課題を解決するための製品・サービスの 開発・展開に取り組み、地域への貢献活動 を通じて、住み続けられるまちづくりに 貢献します。

### <具体的な取り組み>

- ・社会が求める「環境」、「ライフサイクルコスト削減」  
への取り組みとして、新しい防水材の販売や  
制振塗料を開発

### <関連するSDGs目標>

- ゴール9：産業と技術革新の基盤をつくろう
- ゴール11：住み続けられるまちづくりを
- ゴール12：つくる責任つかう責任

# 健康経営

## 健康経営の取り組み



### 社長挨拶（健康経営宣言）

# MESSAGE

## 従業員が健康でいきいきと活躍できる環境を整え、 一人ひとりの働きがいと幸福度の向上を実現します。

瀧上建設興業株式会社は、従業員が健康でいきいきと仕事に取り組み、持てる力を発揮することにより、一人ひとりが活躍できる企業を目指します。

そのために、従業員の健康増進と、職場環境の改善に向けて、全社的な推進体制を整備し、必要な施策を継続的に実行します。

この活動の推進により、企業の社会的責任を果たすとともに従業員一人ひとりの働きがいと幸福度の向上を実現する。

これが、瀧上建設興業株式会社の健康経営®です。



代表取締役社長 鬼頭 克己

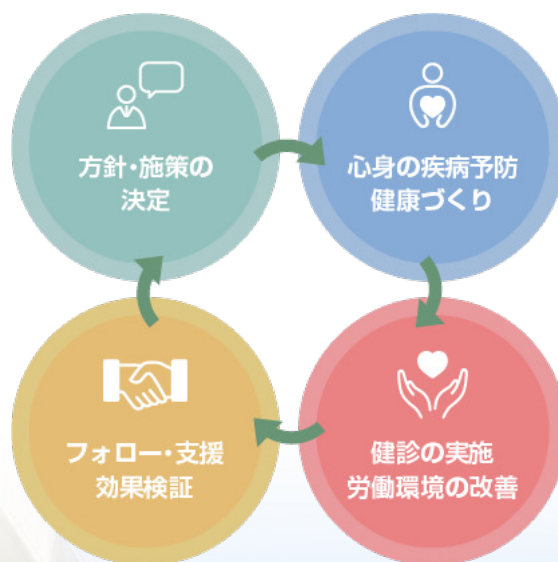
### 取り組み事例の実績

# RESULTS

項目	2020年度実績	2021年度実績
定期健康診断受診率	100%	100%
平均勤続勤務年数	12.1年	13.3年
月平均所定外労働時間(残業)	29.6時間	26.4時間
平均有給休暇取得日数	10.3日	10.9日

### 方針説明

# POLICY



※健康経営に取り組む4つの軸を定め、PDCAサイクルを循環させています。

## 取り組み事例の紹介

### 1、産業医の相談窓口設置

**従業員が気軽に健康や仕事などの悩みを相談できる窓口が利用可能です。**

産業医の設置により、従業員の健康管理支援を行います。

産業医の設置により、下記効果が見込まれます。

- 衛生教育などを通じ職場の健康意識が向上します。
- 職場における作業環境の管理などについて助言が受けられます。



### 2、ヘルスケアシステムの導入

**体温や体調などを記録できるHRツールを導入しております。**

HRツールにより従業員の健康管理にアドバイスが表示され、セルフチェックが可能になります。

不調の兆候を自身で察知し、産業医へ相談など早期改善を図れます。

また、ストレスチェックの実施により、従業員のストレスの程度を把握し、従業員自身のストレスへの気づきを促すとともに、職場環境改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることが可能になります。

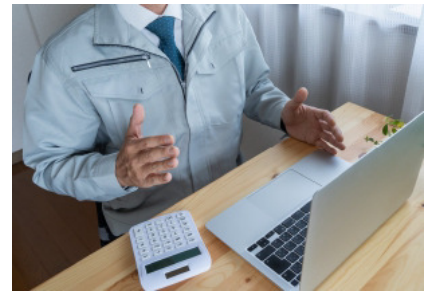


### 3、新型コロナウイルス感染症対策について

**新型コロナウイルス感染症対策を行っております。**

新型コロナウイルス感染症に対し、感染状況に応じた対応を本社・営業所に迅速に指示するとともに、従業員向けの相談窓口・担当者の設置や、全従業員に対する感染予防のための予防手段の実施を行っております。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の非常事態宣言中は、在宅勤務を行い、社員の感染対策への取り組みを実施致しました。



### 4、定期健診の100%受診

**定期健診の100%受診を徹底しています。**

年に1回定期健康診断を社員全員を対象に実施しています。

夜間勤務がある社員には、法令に従った半年1回の健診も実施しております。

また、健診は指定の医療機関で無料で受診することができます。

受診後は、結果に基づき、治療の徹底と保健指導活用の取り組みを推進し、社員の皆さまへ働きかけを行っています。



### 5、休暇・休日の取得促進と家族手当

**週休2日制への推進と家族手当を実施しております。**

現在当社は年間休日が122日あり、これは業界の中でも多い方です。

今まで現場作業においては土曜日出勤することがありましたが、会社として働き方改革を推し進めており原則土曜日を休暇にするようにしております。

また会社の取組として有給休暇奨励日を年間5日設けており、従業員の皆様が健康に働ける環境を整えております。

また、家族手当の支給も実施しており、ご家族への支援にも取り組んでいます。

より良い環境で社員に働いてもらいたいという思いから当社は今後も変化していくことでしょう。

- 男性育児2名（期間：2ヶ月）※22年度
- 女性従業員は、5名（育児・産休制度あり）※復帰実績あり



## ご挨拶

当社は、昭和40年4月瀧上工業の工事部門として分離独立して以来、鋼橋架設工事・補修工事の専業として多くの実績を積み重ねて参りました。

この間、我が国の経済は右肩上がりの成長期を過ぎ、今や成熟期に入ったと言われる時代になりました。このような社会情勢の変化に伴い、社会資本整備のあり方を捉え直す必要が出てきています。とりわけ道路建設、整備などの社会資本に対する考え方は、新設から「保守・延命」へと大きくシフトしています。

当社は、こうした社会的要請の変化に応えるため、多様化するニーズに応える体制の強化を推進しています。長年培ってまいりました鋼橋架設技術・補修技術に加え、コンクリート補修分野をさらに強化。鋼・コンクリートの調査・診断から施工方法の提案、施工まで一貫して行うことで、顧客の皆様からさらなる信頼を得てご満足いただけるよう努めて参ります。

道路建設、整備は道づくりであり、地域と地域を繋ぐ街づくりであることを第一に考え、それを建設し、守ることを通じて安全で安心できる地域社会の構築に貢献できる企業を目指します。今後とも、なお一層のご愛顧とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

瀧上建設興業株式会社 代表取締役社長 鬼頭克己

## 会社概要

商号	瀧上建設興業株式会社
設立	昭和40年（1965）4月1日
資本金	1億円
建設業許可番号	建設大臣許可(特-29)第2322号 許可業種：土木工事業、建築工事業、鋼構造物工事業、 とび・土工工事業
営業種目	(1) 橋梁の点検調査・維持補修 (2) 鋼橋上部工の設計・製作・架設・床版 (3) 一般土木建築工事の設計施工 (4) 土木建築関連材料の販売
取引銀行	三菱UFJ銀行熱田支店

## 瀧上建設興業株式会社

〒466-0064 愛知県名古屋市昭和区鶴舞2丁目19番22号  
TEL.052-882-7100/FAX.052-882-7104